

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

- ・ 製品の名称 : ミライフ
- ・ 奨励用途及び使用上の制限 : インテリア向け素材、補強素材
- ・ 会社名 : 販売者 ENEOS テクノマテリアル株式会社
- ・ 住所 : 〒289-1624 千葉県山武郡芝山町小池 2700 番 72
- ・ 担当部門 : 成田工場 技術グループ
- ・ 発行連絡先 : 電話番号 0479-77-1524
FAX 番号 0479-77-2218

2. 危険有害性の要約

- ・ GHS の分類 : 分類基準に該当しない。
- ・ GHS 分類に該当しない : 特段の注意を要する危険有害性をもたないが、火炎やスパークによる火花等に接触することにより引火することがある。

3. 組成、成分情報

- ・ 化学名 : ポリエチレンテレフタレート
- ・ 成分及び含有量 : ポリエチレンテレフタレート $\geq 99.0\%$ 、添加剤 $\leq 1.0\%$
- ・ 官報公示整理番号 : 化審法 7 - 1022
- ・ CAS 登録番号 : 25038-59-9
- ・ 国連分類及び国連番号 : 該当しない。
- ・ PRTR 法 : 該当しない。

4. 応急措置

特別な応急処置が必要になる危険有害性はない。

- ・ 吸入した場合 : 高温の熔融樹脂から発生するガスをひどく吸入した時は、新鮮な空気のある場所に移る。咳・呼吸困難やその他の症状が出た時は、医師の手当てを受ける。
- ・ 皮膚に付着した場合 : 石鹼・水で良く洗い流す。熔融物が付着した場合には、衣服の上から大量の水をかけ、十分に冷却し、衣服を脱がせ、医師の手当てを受ける。
- ・ 目に入った場合 : 危険な物質ではないが、眼球を傷つける可能性があるので清浄な水で洗い流す。異物が目に残るようであれば、眼科医の手当てを受ける。
- ・ 飲み込んだ場合 : 危険な物質ではないが、出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- ・ 消火方法 : 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。
- ・ 消火剤 : 水、泡消火剤（エアフォーム）、粉末消火剤等を用いることが出来るが、水は冷却効果が大きいので水を使用することが望ましい。
- ・ 消火を行う者の保護 : 保護手袋、保護眼鏡（ゴーグル型）、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

- ・ 人体に対する注意事項 : 情報なし。但し、床面に散乱した場合は滑る恐れがあるので清掃の上、回収する。
- ・ 環境に対する注意事項 : 排水系などの水面へ流出した場合は、魚類、鳥類等に悪影響もある。
- ・ 回収・中和 : 該当しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・ 取扱い : 常温では引火の恐れはないが、作業上で火気をみだりに使用することを避ける。
- ・ 保管 : 常温で保管し、直射日光、水濡れ、急激な温度変化等を避ける。貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

8. 暴露防止及び保護措置

- ・ 設備対策 : 該当しない。
- ・ 管理濃度 : 特に定められていない。
- ・ 許容濃度 : 日本産業衛生学会（1996年度版）… 特に定められていない。
ACGIH（1996年度版）… 特に定められていない。
- ・ 呼吸用保護具 : 通常は不要。火災の場合は自給式呼吸器具を使用する。
- ・ 手の保護具 : 作業環境に応じて皮製の手袋などの保護具を使用する。
- ・ 目の保護具 : 作業環境に応じて眼鏡等の保護具を使用する。
- ・ 皮膚及び身体の保護具 : 該当しない。

9. 物理的及び化学的性質

- ・ 外観等 : シート状。
- ・ 臭い : 特になし。
- ・ 蒸気圧 (mmHg) : 測定データなし。
- ・ 蒸気密度 (空気=1) : 測定データなし。
- ・ 発火点 : 400℃以上
- ・ 密度 : 1.35～1.40g/cm³
- ・ 融点 : 240～260℃
- ・ 溶解性 : 該当しない。（濃硫酸などフェノール類には溶解）

10. 安定性及び反応性

- ・ 安定性／反応性 : 一般的な貯蔵取扱いにおいては安定で、反応性はない。
 - ・ 避けるべき条件 : 危険有害物等は発生しないが、直射日光に長期間暴露されると劣化が生じる。また、熱、火または強い酸化剤との接触を避ける。
-

11. 有害性情報

- ・皮膚腐食性 : 皮膚腐食性は無いと考えられる。
- ・刺激性 : 刺激性は無いと考えられる。
- ・感作性 : 感作性は無いと考えられる。
- ・急性毒性 : 具体的なデータはないが、急性毒性は低いと考えられる。
- ・がん原性 : 具体的なデータはないが、がん原性は無いと考えられる。

12. 環境影響情報

海洋生物・鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域へ投棄・放出してはならない。

- ・生態毒性 : 毒性影響を及ぼすとは考えにくい。
- ・分解性 : 容易に生物的に分解しない。

13. 廃棄上の注意

- ・関連法規、地方自治体の基準に従い適切な廃棄を行う。
- ・廃棄物は原則として、焼却又は埋立てによって処理する。
- ・焼却する時は、焼却設備を用いて「大気汚染防止法」等の関係法令に適合した処理を施し、焼却する。
- ・埋め立てる時は「廃掃法」に従って処理する。

14. 輸送上の注意

- ・国際規制 : 国際輸送に関する国際勧告の定義上は危険物に該当しない。
日本および輸出先の国内法令に従う。
- ・消防法 : 危険物に該当しない。
- ・船舶安全法 : 危険物に該当しない。
- ・航空法 : 危険物に該当しない。
- ・注意事項 : 梱包袋が破れないように、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

- ・消防法 : 指定可燃物（合成樹脂類）（指定数量：3,000kg）
- ・水質汚濁防止法 : 該当しない。
- ・毒物劇物取締法 : 該当しない。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

16. その他の情報

- ・引用文献 : 樹脂ペレット流出防止マニュアル
(日本プラスチック工業連盟 1993年2月)
: 食品用プラスチック衛生学、厚生省環境衛生局食品化学課編
(講談社)

<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項 	<p>記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により訂正されることがあります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。なお、上記の内容は情報提供であって、保証するものではありません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・改訂履歴 	<p>作成日：2006年 4月 1日</p> <hr/> <p>改訂日：2010年 7月 1日 内容：社名、住所変更</p> <hr/> <p>改訂日：2010年 12月 24日 内容：J I S 2005年版対応（G H S 対応）</p> <hr/> <p>改訂日：2012年 7月 1日 内容：会社分割 販売者 JX 日鉱日石エネルギー株式会社 受託製造者 JX 日鉱日石 ANCI 株式会社</p> <hr/> <p>改訂日：2014年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2015年 3月 1日 内容：JIS Z 7253：2012年版対応</p> <hr/> <p>改訂日：2015年 10月 1日 内容：吸収分割および社名変更 販売者 JX ANCI 株式会社</p> <hr/> <p>改訂日：2016年 9月 1日 内容：成分及び含有量を修正</p> <hr/> <p>改訂日：2019年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2020年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2020年 10月 1日 内容：社名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2024年 2月 6日 内容：JIS Z 7253:2019 に対応 担当部門名変更</p> <hr/> <p>改訂日：2024年 4月 1日 内容：担当部門名変更</p>